

地区社協の活動と取組を紹介します

松本地区

誰もが安心して暮らせる
地域社会づくり



松本地区社協は、ひとり暮らし高齢者の急増と地域で起こる問題の早期発見解決に向けて各種団体と共に連携を密にして活動しています。

年間を通しての活動を紹介します。

*自治会型「マイホーム」ゆづりゆづりサロン」は地区の8か所で実施。地区住民の人が考案した棒フットサルは好評でした。

*ららら健康アップ教室 介護予防のために体を動かす心も体もリフレッシュ。

*ひとり暮らし高齢者へ安全確認を兼ねての配食サービス

環境の変化があっても、つながりを絶やさないよう取組を考えてきました。

松本小学校の体育館で行われた「松本まつり」にて地区社協も『福祉フェア』を開催しました。

地域包括支援センターによる各種相談会、視覚障がい者・高齢者疑似体



松本地区社協 福祉フェアの様子

験、「ゆづりゆづりサロンの小物づくり体験、高齢者や小さい子ども達でも楽しめるゲーム、共同募金活動等で、当日は約320人の方々が賑わいました。これからも子どもから大人まで福祉に関心をもってもらえる企画を考えていきたいと思えます。

松本地区社会福祉協議会

庶務 山田 満子
松田喜代美

湊地区

備えあれば憂いなし、
日頃より絆を深めて



湊地区は、福井市の西部に位置し、東西に「さくら通り」がはしり、桜の開花時期には桜のトンネルとして有名な「照手・木町桜並木通り」は多くの人で賑わいます。江戸時代には、足羽川右岸沿いに船着き場があり、「塩町」「木町」などの自治会名が残っており、「藁屋」「三秀園」「葎屋」等の史跡も多くあります。

湊地区社協では、「力を合わせ地域福祉で安心して暮らせるまちづくり」を基本理念のもと、「ひとりづつ」を基本理念のもと、「ひとりづつ」を基本

なごりづくり・まちづくり」を基本

目標に活動してきました。現在は、近年の能登半島での地震や大雨被害を受け、災害時の個別避難の方法について市危機管理課も交え、湊地区関係者数名で月1回の代表者会議と定期的な研修会を開いてきました。個別避難計画には、民生児童委員・福祉委員を交えて、要支援者の必要な情報を共有してきました。問題は、災害時に「だれが、どこに、どのように避難

させるか」等、個別調整に時間がかかりました。回を重ね、湊地区住民への災害対策に対する意識も向上していきます。

今後も、自治会連合会・自主防災会と力を合わせ、地域住民が絆を深め、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

湊地区社会福祉協議会

会長 梶本 重成



湊地区社協 民生児童委員・福祉委員合同研修